

## 第4回 南風原町まちづくり住民会議

### ■フリーディスカッションの内容

「前回の振り返り（前回で回答できなかった質問への回答）」、「住民アンケート調査結果」  
「第四次総合計画の進捗状況と問題点・課題の抽出」の説明を踏まえて、委員からでた質疑・意見は以下のとおりである。

#### 1. 南風原町を活性化・盛上げるために必要なこと

- ・創業比率が全国的に高い沖縄県の中で、沖縄県の平均及び全国平均を下回る南風原町の現状として、創業に関する支援を考えていく必要があると思う。  
⇒現状は、創業に関して商工会に補助金を出すなど対応をしている。
- ・創業支援として、補助金も重要だが、市レベルをはじめ北谷町や嘉手納町なども設置している創業を支援する施設をつくる必要があると思う。特に南部地区には創業支援施設がほとんどないことから、南風原町につくることで、産業面を活性化させるひとつの方策だと思う。
- ・自治会加入率が県平均に比べて南風原町が高いという結果について、何故高いのかというところなども今後は分析していく必要がある。
- ・今後、南風原町を担う子どもや若者への人材育成を含む環境整備は重要だが、高齢化社会の中で、元気な高齢者の力を活用する方策も考える必要があり、シルバー人材センターをつくることも1つの手だと思う。  
⇒現在、高齢者という枠組みではなく、人材バンクとしてすべての方への雇用支援に関する取組みを始めたばかりであり、今のところはこの取組みを推進していくことを考えている。

#### 2. もっと、住みよい南風原町にするために

- ・目の不自由な方が歩道を歩いている際に、点字ブロックの上を歩いている状況があり、何故かと思ったら点字ブロック上に雑草などが覆いかぶさっており、点字ブロック上を歩くには危険な状況にあったことから、役場に電話したところ、国道事務所に連絡をしてくれて、2日後には対応してもらったということがあった。市民の要望に対して、すぐに対応できるものについては、すぐに対応するというのと、小さいことかもしれないが、気づいたことは役場に伝えることや自らできることは積極的に行動することも住みよい南風原町になるには重要なことだと思う。
- ・役場の職員について、笑顔で親切な対応をしてくれる職員もいる中、住民がきても知らん顔をしたり、あいさつもしない職員も見受けられる。役場に訪れた人に対してすべての職員が笑顔で接するだけでも市民が受ける印象は全然違うので、小さなことから始めて、最終的には町でISOを取得するところまで取り組んでも良いと思う。

- ・アンケートの要望にもあがっているが、今後の南風原町を考える上で、公共交通の充実が重要だと思うので、L R Tについても住民会議の中で勉強会を開催し、認識を深めてはどうかと思う。
- ・保育園・幼稚園・小学校、中学校の保育から学校教育までの連携がとても重要だと思う。PTAの集まりなどについても、参加するメンバーが固定されていて、それ以上の広がりがない現状があることから、PTAの活性化が今後の南風原町の教育環境の向上にもつながると思う。
- ・町の広報誌の配布について、宅地開発が行われている地区などで全戸配布ができていない状況もあることから、引きこもりがちな高齢者の方などをボランティアや少額の謝礼金をだすなどして配布をお願いすることで、自立支援と全戸への情報提供につながるのではないかなと思う。  
⇒広報配布については、他市町村の事例などを収集しており、現在の南風原町に何が一番良い方法なのかを検討しているところである。

### 3. 本日の資料に対する質問

- ・「はえばるリサイクルループ」をしている「のぞみの里」とは、はえばる豚をおこなっているところでしょうか。  
⇒はえばる豚の取組みをおこなっているところである。
- ・河川の親水性について住民から懸念があがっているとは、どういう意味なのか。  
⇒二トリの裏側の河川については、川まで降りられるように整備している箇所があるが、降りられるようにすることで、子どもたちに危険が及ぶのではないかと心配する声の一部があがっているということである。